

## 日本海溝海底地震津波観測網（S-net）のメンテナンスに伴う 緊急地震速報等への影響について

1月中旬から2月下旬にかけて日本海溝海底地震津波観測網（S-net）の一部観測点においてメンテナンスを実施することに伴い、当該観測点の周辺を震源とする地震が発生した場合、緊急地震速報等の発表が平常時より遅くなる可能性があります。

気象庁は、国立研究開発法人防災科学技術研究所の協力を得て、同研究所が運用管理している日本海溝海底地震津波観測網（S-net）の観測データを緊急地震速報や津波情報の発表に活用し、情報発表の迅速化を図ってきました。

今般、同研究所において、1月19日から2月25日にかけてS-netのメンテナンスを実施する予定です（詳細は別紙1参照）。これに伴い、メンテナンス予定期間は、当該観測点のデータを緊急地震速報の発表や津波警報の更新等に活用できなくなります。この期間に当該観測点の周辺を震源とする地震が発生した場合、S-netのデータを活用することにより得られていた緊急地震速報の発表、津波警報の切り替え、津波観測情報の発表の迅速化や精度向上の効果が低減し、緊急地震速報の発表が平常時より最大で約15秒程度遅くなる可能性があります（緊急地震速報への影響については別紙2参照）。

なお、津波警報（第1報）や地震情報の発表までにかかる時間及びその内容に影響はありません。

問合せ先：（緊急地震速報について）

地震火山部地震火山技術・調査課 担当 桑山、林元  
電話 03-6758-3900（内線 5242、5252）

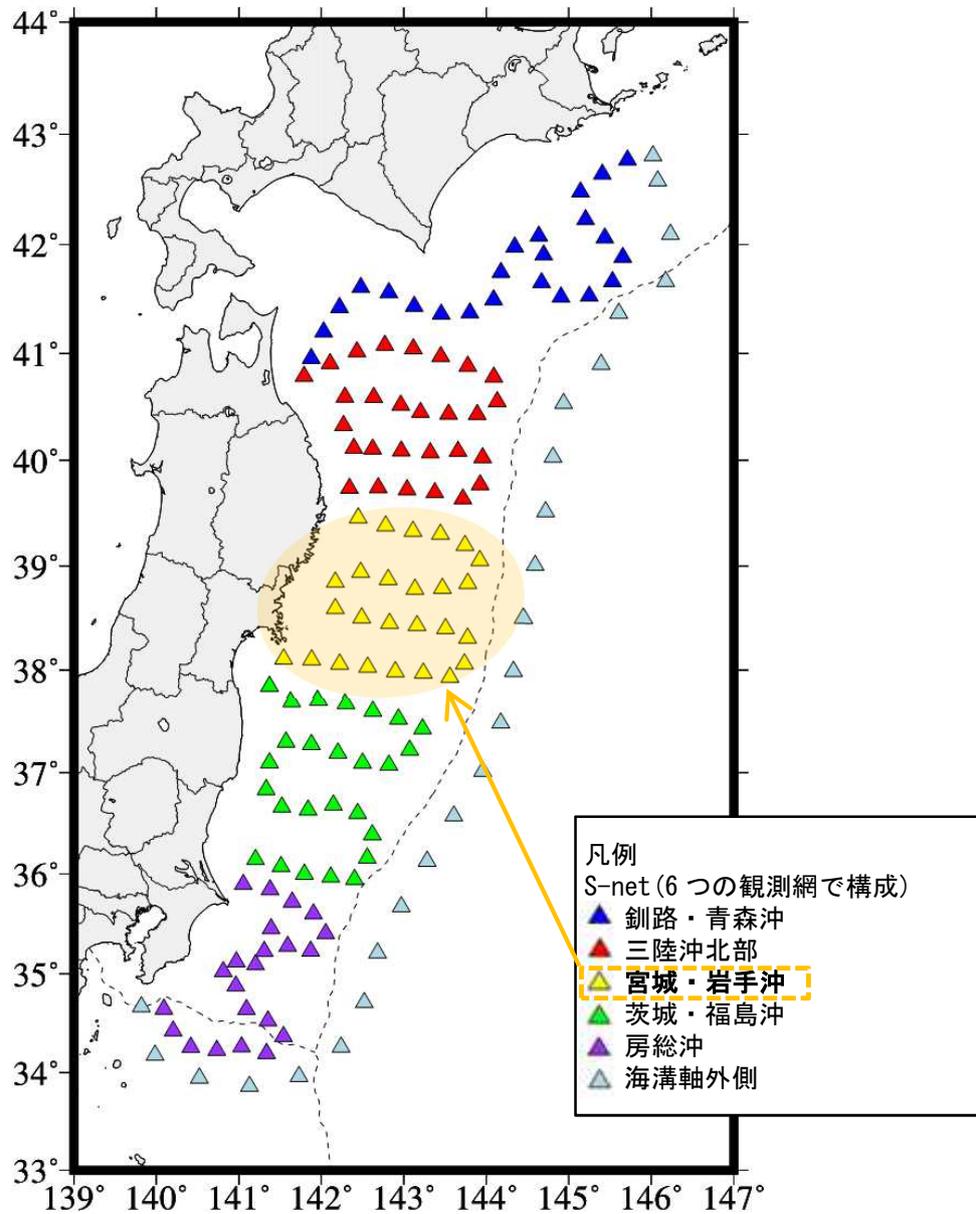
（津波情報について）

地震火山部地震津波監視課 担当 平、平野  
電話 03-6758-3900（内線 5141、5142）

（S-netのデータ入手について）

地震火山部地震火山技術・調査課 担当 晴山、近澤  
電話 03-6758-3900（内線 5246、5282）

日本海溝海底地震津波観測網 (S-net) の配置図

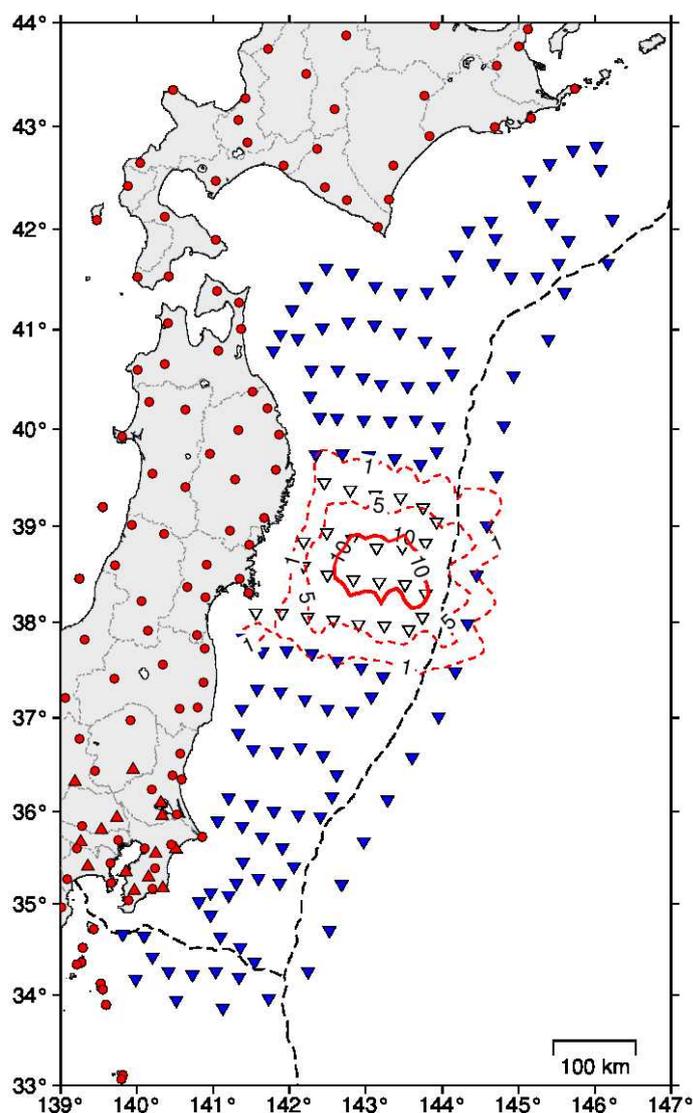


宮城・岩手沖の観測データについて、メンテナンス作業により  
1月19日～2月25日にかけて、観測データの利用に影響が生じます。

※メンテナンスの日程については、作業の状況により変更となる可能性があります。

日本海溝海底地震津波観測網(S-net)のメンテナンスに伴う  
緊急地震速報への影響について

当該海域には、国立研究開発法人防災科学技術研究所が運用管理している日本海溝海底地震津波観測網 (S-net) (下図：青▼) が設置されており、この観測データを緊急地震速報の発表に利活用しています。



図中に赤で示した等値線は、日本海溝海底地震津波観測網のメンテナンス作業により宮城・岩手沖の観測データについて緊急地震速報への活用を停止した場合、緊急地震速報の発表が通常よりどの程度遅れるかを秒数で表したものの。